

ツルヨシ群落



分布	本州から九州、沖縄に分布。 ⁽¹⁾
生態	川の上流域の河岸や砂礫地に多く生える。つるは細長い円柱形で地上を這い、節ごとに分枝する。茎は円柱形で高さ 1～1.5m になる。中空で節に短い軟毛がある。 ⁽¹⁾
配慮事項	上流域のツルヨシ群落は河川の景観を特徴づけるほか、昆虫や小動物の生息の場としても利用されている。 ⁽¹⁾

(1) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

オギ群落



分布	北海道、本州、四国、九州の各地に分布。 ⁽¹⁾
生態	ススキによく似た大型の多年草で、茎は硬くて太く、竹のような節があり、高さ1～2.5mになる。 ⁽¹⁾
配慮事項	オギの生息場所に中途半端に手を加えて放置すると、セイタカアワダチソウが侵入し、オギを駆逐することがある。帰化植物からの侵入から守るためにも、工事は慎重に行われるべきである。 ⁽¹⁾

(1) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

チガヤ群落



分布	日本全土に分布。 ⁽¹⁾
生態	4 月頃に発芽して成長、茎はやや細く、直立して高さ 30～80cm になる。葉は長い線形で長さ 20～50cm、緑褐色でやや堅く、下部は挟まって葉柄のようになる。 ⁽¹⁾
配慮事項	チガヤの草原には多くの昆虫や鳥が依存しているので、草刈り、火入れなどの管理を行う際には時期や頻度に配慮して、生物の生息に影響を及ぼさないようにする。 ⁽¹⁾

(1) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

タコノアシ



区分	環境省レッドリスト: 準絶滅危惧 宮崎県版レッドリスト: 準絶滅危惧
分布	本州、四国、九州に分布。 ⁽¹⁾
生態	山間地の湿地や河川のワンドなどに生育。高さ60cm前後の多年生草本。葉は細長く、幅10cm、長さ7～8cm程度。花期は9月で、茎の先に穂状の花序を数個つける。
配慮事項	自生地はやや多いが、個体数は減少している。自生地の開発、河川改修による影響が懸念される。 ⁽¹⁾

(1) 宮崎県版レッドデータブック 宮崎県の保護上重要な野生生物、宮崎県、2000